

能代市総合計画

まちづくり確認書

平成27年3月

能代市

この確認書では、左ページにまちづくり提案、右ページに市の対応を記載しています。
右ページの中でかっこ書きしている事業費（～千円）は、平成27年度当初予算額です。

「実施計画期間中（-H29）の市の対応」欄の基準（目安）

1 対応する予定（又は既に対応）

- 新たな対応を予定しているもの
- 既に取り組んでいるもの（改善を予定しているものを含む）

2 対応する方向で検討

- 新たな対応に向けて準備を進めるもの
- 新たな対応に向けて検討を進めるもの

3 対応の課題等を研究

- 新たな対応を中長期的な課題として研究するもの
- 新たな対応が可能かどうか検討するもの

4 対応は当面困難

- 法律や制度などの制約から行政の関与が難しいもの
- 担い手や資金の確保などの課題があり対応が難しいもの など

※ 1～4が混在している場合は、複数を選択しています。

【取組の改善策】

政策1(1)コミュニティで支え合う特色ある地域づくり	提案1 ファミリーサポート町内版（仮称）の実施
提案に至った現状と評価	提案の内容
<p>・地域コミュニティは、旧市内であっても新興住宅地であっても全般的に希薄である。</p> <p style="text-align: right;">（……ので、）</p>	<p>○老人クラブや地域にいる保育士、養護教諭、教員、看護師、助産師、保健師等有資格者が連携して、子育て世代の手助けをする『ファミリーサポート町内版（仮称）』を実施する。また、地域の公民館を子育て家族や学童クラブに行けない子どもたちなどが集まれる居場所として常に開放し、見守る。</p> <p>行政は、資金の援助や場所の提供等を行う。</p> <p style="text-align: right;">（……が、……ことを提案する。）</p>

政策1(1)コミュニティで支え合う特色ある地域づくり	提案2 若い世代が地域活動に参画できる仕組みづくり
提案に至った現状と評価	提案の内容
<p>・次世代のリーダーが育たない。</p> <p>・PTA活動が活性化することによって、地域のリーダーも自然に育っていくと思われる。</p> <p style="text-align: right;">（……ので、）</p>	<p>○学校、地域、自治会等が連携し、地域の活動に若い世代が参画できる工夫や、地域の一員として親が我が子以外にも目を向けられる機会を作る。</p> <p style="text-align: right;">（……が、……ことを提案する。）</p>

政策1(2)学び合い高め合って地域に活かす生涯学習	提案3 生涯学習に対する意識改革と身近な活動の場づくり
提案に至った現状と評価	提案の内容
<p>・心豊かな人生を過ごすために生涯学習は必要だが、誰かの為ではなく自分のために関心のある事に取り組んでいる。それが大前提であることが認識出来ていない。</p> <p>・団体やグループに属している人は発表や交流の場があるものの、個人の活動では地域で活かせる機会が少ない。</p> <p style="text-align: right;">（……ので、）</p>	<p>○行政、町内、自治会、個人、グループ等が、「スポーツ、文化活動、ボランティア等、誰もが意識せずに行っている活動そのものが生涯学習である」という意識を広める。</p> <p>○生涯学習を広く進めるため、活発な活動を支援する登録制度等のPRをする。</p> <p>○ファミリーサポート町内版（仮称）など、個々の得意な分野を気軽に生かせる場を身近に設ける。</p> <p style="text-align: right;">（……が、……ことを提案する。）</p>

【提案への市の対応】

※事業費は平成27年度当初予算額

政策1(1)コミュニティで支え合う特色ある地域づくり	提案1 ファミリーサポート町内版（仮称）の実施
実施計画期間中（～H29）の市の対応	対応の内容
① 対応する予定（又は既に対応） 2 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 4 対応は当面困難	「ファミリーサポート町内版（仮称）」提案については、「日吉町地区第四長生会」をモデル地区とし、その地域に適した子育て支援の手法を探り、「地域子育て応援隊！」を広めていく上での課題検証等を行う「地域子育て応援隊！実施モデル地区支援事業（10千円）」に取り組みます。 公民館を常に開放し見守ることについては、地域の方々との連携が必須であり、様々な課題抽出も含め今後コミュニティ強化推進を図りながら研究していきたいと考えています。放課後の子どもたちの安心・安全な居場所づくりに関しては、「放課後子ども教室」として、平日の学校図書室等開放（児童クラブ未設置校）、土曜日の学校体育館開放や週末体験活動を行い、安全管理員等を地域の方々に務めていただき、今後も「放課後子ども統合プラン」に基づいて、地域の方々との連携し、子どもたちの居場所づくりの充実に努めたいと考えています。

政策1(1)コミュニティで支え合う特色ある地域づくり	提案2 若い世代が地域活動に参画できる仕組みづくり
実施計画期間中（～H29）の市の対応	対応の内容
① 対応する予定（又は既に対応） ② 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 対応は当面困難	若い世代の地域活動への参画が少ない要因としては、子育て世代であること、働き盛りの世代であること、地域内でその世代の方々数が減少してきていること等によるものと考えられ、地域、学校、PTA等の連携が重要であり、既存のネットワーク（つながり）を維持しながら拡充が図られるよう、関係機関、団体等に働きかけ、地域活動の参画から次世代のリーダー育成へつなげる取り組みを進めたいと考えています。 特に子育て世代は、子供会等の活動を通じて地域活動に参画する機会が多いと考えられることから、小学校の地区子ども会が行うボランティア活動やレクリエーションなどの学校関連活動へ、より参画しやすい検討を各学校に働きかけます。 また、各校で年に数回行っている、地域の方々誰もが学校へ参観できる「みんなの登校日」のPR強化と、運動会や学習発表会等の魅力ある内容を伝える工夫をし、多くの方に来ていただける取り組みを検討します。

政策1(2)学び合い高め合って地域に活かす生涯学習	提案3 生涯学習に対する意識改革と身近な活動の場づくり
実施計画期間中（～H29）の市の対応	対応の内容
① 対応する予定（又は既に対応） ② 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 対応は当面困難	教育基本法第3条に、「生涯学習の理念」として「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」とあります。 その「生涯学習の理念」をふまえ、広報掲載の「生涯学習のしろ」や市ホームページ等を通じて意義等の普及・啓発に取り組んでいますが、引き続き充実させていきたいと考えています。また、現在行っている「生涯学習ボランティア」の登録、市民への周知・活用呼びかけ、「人・人掲示板」の活用のほか、今後は学習者と学校・家庭・地域をつなげるコーディネーターの育成等、学習の成果を地域活動などに活かせる仕組みづくりにも取り組んでいきたいと考えています。

【取組の改善策】

政策1(3)地域で育み社会で支える子育て・子ども支援	提案4 ファミリーサポート町内版(仮称)、産婆さんシステム(仮称)、ホームスタートの実施
提案に至った現状と評価	提案の内容
<p>ファミリーサポートセンターの事業が以下の状況にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用しやすい支援になっていない。 ・ほぼ送迎が占めており、活動できる提供会員が限られている。 ・緊急時や病時の利用ができない。 ・料金的にリーズナブルな一時預かりの利用が多い。 <p>(……ので、)</p>	<p>○行政は空き施設等の提供、町内、自治会はサポーター、見守り、NPOはそれぞれの支援を届けるなど、互いに連携し、以下の取り組みを行う。</p> <p>【ファミリーサポート町内版(仮称)】 町内の子供を預かり、有資格者の協力を得て一緒に子供を見守ったり、親の話し相手になる。地域住民の生きがいにとなる。</p> <p>【産婆さんシステム(仮称)】 現役を引退した助産師が産前産後のお母さんたちのケアをし、きめ細やかな訪問を行う。</p> <p>【ホームスタート】 多様な支援がありながらも、子育てによって笑顔を失ってしまったり、子育てに前向きになれなくなったお母さんに、保健師や地域との連携により、子育て経験者が寄り添い必要な支援を届ける。子育てうつや虐待の早期発見にもなる。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策1(4)次代を担う子どもの成長を支える学校教育	提案5 PTAの見直し、次世代の親教育の実施
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・学校はさまざまな情報を発信しているが、親が関心を持たない。 ・親の中には、地域に関心を持たない人もいる。 ・ゆとりがなく、コミュニケーション(対子ども、対地域)に欠ける親もいる。 <p>(……ので、)</p>	<p>○学校、親、自治会、子ども会育成連合会、民生児童委員、民間、子育て中の家族等が連携し、以下の取り組みを行う。</p> <p>【PTAの見直し】 親の都合に合わせるのではなく子供のためにある活動と捉え、仕組みを見直す。</p> <p>【次世代の親教育】 命の教育や赤ちゃん訪問などを取り入れた「親教育プログラム」を実施し、子どもの成長に寄り添えるような次世代の親を育てる。 *参考…カナダ「共感の根」高松市「中学生と乳幼児のふれあい事業」</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策1(5)子どもも大人も心と体の健康づくり	提案6 健診率向上運動の推進
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・全国で秋田県はがんによる死亡率がトップで、その中でも能代市は高い方にある。また、喫煙率も依然として高い。 <p>(……ので、)</p>	<p>○行政(市・県)、健康推進員医療機関、医師会、企業など、市民力を結集し、戸別訪問や出前講座、会社での奨励、病院からの勧奨など様々な手段を用いて、検診の必要性や様々な制度の周知を図り、がん検診率の向上に取り組む。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

【提案への市の対応】

※事業費は平成27年度当初予算額

政策1(3) 地域で育み社会で支える子育て・子ども支援	提案4 ファミリーサポート町内版(仮称)、産婆さんシステム(仮称)、ホームスタートの実施
実施計画期間中(~H29)の市の対応	対応の内容
① 対応する予定(又は既に対応) 2 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 4 対応は当面困難	<p>「ファミリーサポート町内版(仮称)」提案については、「日吉町地区第四長生会」をモデル地区とし、その地域に適した子育て支援の手法を探り、「地域子育て応援隊!」を広めていく上での課題検証等を行う「地域子育て応援隊!実施モデル地区支援事業(10千円)」に取り組みます。</p> <p>「産婆さんシステム(仮称)」、「ホームスタートの実施」提案については、現在、市では子育てうつなどで子育て家庭が孤立することのないように、乳児家庭全戸訪問事業、乳幼児健診、オリジナル絵本の配付、5歳児親子相談、育児相談員及び家庭児童相談員の配置等を行っています。</p> <p>今後、一層地域の方々との連携強化、並びに関係機関との情報共有を図りながら実施していくとともに、他に必要とする事項・事業を検証していきたいと考えています。</p>

政策1(4) 次代を担う子どもの成長を支える学校教育	提案5 PTAの見直し、次世代の親教育の実施
実施計画期間中(~H29)の市の対応	対応の内容
① 対応する予定(又は既に対応) ② 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 対応は当面困難	<p>「PTAの見直し」については、PTAに対し、子どものための活動でありながら地域貢献にもつながっている活動だと地域の方々からも実感できるような取り組みの検討を働きかけ、各学校及び郡市PTA連合会等にも働きかけます。</p> <p>「次世代の親教育」については、家庭教育支援事業の一環で、高校生が乳幼児と触れあいながら、子育てをしている保護者と交流する体験活動講座「命の大切さ事業」や、中学生を対象とした家庭教育関係講座で、妊娠・出産に関する学習会を開催しています。</p> <p>また、キャリア教育の充実に向けた取り組みとして中学校で行っている、幼稚園・保育所等での乳幼児と触れあえる職場体験活動を推進し、多くの生徒が体験できるよう各中学校に働きかけるなど、「次世代の親教育」につながる事業の充実と周知に努めます。</p>

政策1(5) 子どもも大人も心と体の健康づくり	提案6 健診率向上運動の推進
実施計画期間中(~H29)の市の対応	対応の内容
① 対応する予定(又は既に対応) 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 対応は当面困難	<p>市では、がん検診受診率向上のため、費用負担の軽減(無料クーポン・ピロリ菌感染検査助成)、受診しやすい環境整備(日曜がん検診、身近なかかりつけ医で胃がん、大腸がん検診を受診できる医療機関方式の拡充)、積極的な受診勧奨(広報、新聞のPR、コール・リコール事業)を実施しており、がん検診率は若干ではありますが向上してきています。</p> <p>今後もこうした取り組みを進めるとともに、情報発信の強化、がんの予防となる食や運動、禁煙等の生活習慣改善について健康教室等を行うほか、27年度からは「(仮称)健康づくりシンポジウム」を開催し、のしろ健康21推進委員会や市民、事業者、保健医療関係者、健康推進員等と連携して健康づくりの気運を高めるとともに健診率向上の取り組みを進めます。(がん対策強化推進事業: 89,473千円)</p>

【取組の改善策】

<p>政策1(6)地域で活躍する元気な高齢者</p>	<p>提案7 地域での高齢者との交流と相互援助システムの構築</p>
<p>提案に至った現状と評価</p>	<p>提案の内容</p>
<p>・高齢者との交流が活発に行われている地域がある一方で、高齢者の自治会活動への協力が少なくなってきたところもある。</p> <p>(……ので、)</p>	<p>○行政（市）、高齢者、自治会が連携して、地域での高齢者同士の交流を活性化しながら、自分ができることは自分でやることを基本に、困難なお互いに助け合う高齢者を中心とした相互援助システムを地域単位で構築する。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>
<p>政策1(7)地域で社会で自立する障がい者</p>	<p>提案8 障がいの情報発信と地域交流の推進</p>
<p>提案に至った現状と評価</p>	<p>提案の内容</p>
<p>・障がい者と関わる機会が少ない。</p> <p>(……ので、)</p>	<p>○障がい者の家族、障がい者施設職員、行政（市・県）等の関わりのある様々な主体が、障がいについてもっと良く知ってもらうために、障がいの情報を積極的に発信する。また、障がい者も地域活動などに広く参加できる環境を整え、障がい者との交流を活性化させる。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>
<p>政策1(8)ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術</p>	<p>提案9 地域の次世代リーダーを育てる</p>
<p>提案に至った現状と評価</p>	<p>提案の内容</p>
<p>・高齢化が進み、中間層（中年）が減少し、それに伴い子ども（若者）の数が減り、さらに子どもが減っている。</p> <p>・多くの地域で、伝統や文化の継承がうまくいっていない。</p> <p>【政策1(8)～1(10)：共通事項】</p> <p>・状況を正しく把握し、改善点の発見とともに改善を促進するためには、評価をする数値目標の工夫改善が必要。</p> <p>(……ので、)</p>	<p>○地域の人たちが、地元のリーダーを育てることが伝統や文化の継承には重要で、今の現役世代が継承する地域づくり（コミュニティ形成）がポイントと思われる。このため、中間世代への働きかけの工夫が必要であり、継承がうまくいっている団体や地域の研究を行い、紹介する。</p> <p>○ボランティアや関心のある人との連携も積極的な対策が必要であり、学校と連携した取り組みの強化を図る。</p> <p>○芸術を育てる地域の醸成を図るため、幼児期からの環境づくりを推進する。</p> <p>【政策1(8)～1(10)：共通事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域のリーダーを育てるプログラム 2. リーダーをつなぐコーディネーターの育成 3. 地域の特性を活かした企画する力を持つプロデューサーの育成 <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

【提案への市の対応】

※事業費は平成27年度当初予算額

<p>政策1(6)地域で活躍する元気な高齢者</p>	<p>提案7 地域での高齢者との交流と相互援助システムの構築</p>
<p>実施計画期間中(~H29)の市の対応</p>	<p>対応の内容</p>
<p>① 対応する予定(又は既に対応) ② 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 4 対応は当面困難</p>	<p>市では、各地域で活動している老人クラブや連合会と連携して、生きがいづくりや健康づくり、社会活動、高齢者同士の支え合い活動等を支援しております。また、能代市社会福祉協議会においては、「いきいきふれあいサロン事業」を実施し、地域の高齢者等が、歩いて行ける地区公民館や集会所等を拠点に居場所や話し相手を作っていく運動を支援しています。各種事業は、社協だよりやホームページ掲載のほか、登録サロンを紹介した冊子を作成するなど周知に努めています。 27年度の介護保険制度改正で求められている、「互助を基本とした生活支援・介護予防サービスの創出」を図るため、生活支援コーディネーターや協議体を設置し、地域に不足するサービスの創出やサービスの担い手養成など、地域支えあいの体制づくりを推進したいと考えています。 また、各地域による自主防災組織の設置を推進しており、その立ち上げに向けて、研修会や先進地視察を実施している自治会・町内会も出てきており、今後、自主防災組織を一つの足がかりとして、共助組織による高齢者宅の除排雪や見守り活動等の可能性も研究していきたいと考えています。</p>
<p>政策1(7)地域で社会で自立する障がい者</p>	<p>提案8 障がいの情報発信と地域交流の推進</p>
<p>実施計画期間中(~H29)の市の対応</p>	<p>対応の内容</p>
<p>① 対応する予定(又は既に対応) 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 対応は当面困難</p>	<p>障がいに関する情報の発信については、広報、ホームページ、窓口での資料提供等のほか、国で定めた「障害者週間」に合わせて、障がい者に工芸品等の作品の募集を行い、秋田市で開催される障がい者福祉展やとらいあんぐるでのふれあい作品展に出品し、障がいへの理解を深めるための活動を行っています。この期間以外でも、のしろ産業フェアにおいて、障がい者に関するマークについてのクイズ(350名参加)を行うなど啓発活動に努めています。 地域との交流については、障害者団体等による「とらいあんぐる祭」や障害福祉サービス事業所及び特別支援学校等における地域交流事業や現場実習、ボランティア団体による「であいのコンサート」「ひまわり号」等のイベントがあります。 また、27年度からとらいあんぐるにおいて、施設利用者と松山地域の方々と一緒に、お茶摘み・花壇の手入れ・昼食作りを行いながら交流を図る新たな事業を計画しています。 今後も引き続き関係機関・団体に対して、情報発信と地域交流の促進に協力いただくよう働きかけていきます。</p>
<p>政策1(8)ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術</p>	<p>提案9 地域の次世代リーダーを育てる</p>
<p>実施計画期間中(~H29)の市の対応</p>	<p>対応の内容</p>
<p>① 対応する予定(又は既に対応) 2 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 4 対応は当面困難</p>	<p>合併を機に、旧市町の各民俗芸能保存団体を統合した「能代市民俗芸能連合会」が発足し、団体間の情報交換が行われています。 市では学校と連携し、毎年小学5年生が学校で行っている「ふるさと学習」での取り組みを発表する「ふるさと学習交流会」や、地域の伝統芸能を披露する「子ども民俗芸能発表会」を開催し、小学生自らが地域の伝統芸能に触れ合う環境づくりを整備しています。 また、この事業を通して、父兄や地域の方々も伝統文化に触れながら交流することで、伝統文化の継承に対する意識醸成を図り、次世代リーダーの育成へとつながるよう引き続き事業を進めながら、中間世代の参加やコーディネーターの育成などの研究に努めたいと考えています。</p>

【取組の改善策】

<p>政策1(9)だれもが気軽に楽しめるスポーツ</p>	<p>提案10 「スポーツ」の定義（見方や捉え方）を広げる</p>
<p>提案に至った現状と評価</p> <p>・「誰もが楽しめるスポーツ」の認識として主に競技スポーツとして捉えられている感がある。 ・生涯スポーツとして歩くことからスポーツと捉えると潜在実践者は多く存在すると思われる。 【政策1(8)～1(10)：共通事項】 ・状況を正しく把握し、改善点の発見とともに改善を促進するためには、評価をする数値目標の工夫改善が必要。</p> <p>(……ので、)</p>	<p>提案の内容</p> <p>○スポーツ関係者が市民に対して、「生涯スポーツとしての誰もが楽しめるスポーツ」への啓発が大切であり、参加者や体験者の意識改革も必要で、「スポーツ」の定義（見方や捉え方）を広くし、参加の仕方が幅広くなるよう工夫する。（応援することも参加など）</p> <p>【政策1(8)～1(10)：共通事項】 1. 地域のリーダーを育てるプログラム 2. リーダーをつなぐコーディネーターの育成 3. 地域の特性を活かした企画する力を持つプロデューサーの育成</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>
<p>政策1(10)認め合い支え合う社会づくり</p>	<p>提案11 あらゆる機会を通じて市民の意識醸成を図る</p>
<p>提案に至った現状と評価</p> <p>・社会の問題として取り組まれておらず、一人ひとりの能力が発揮される社会になるためには、市民の意識も低く、啓発も不十分である。 【政策1(8)～1(10)：共通事項】 ・状況を正しく把握し、改善点の発見とともに改善を促進するためには、評価をする数値目標の工夫改善が必要。</p> <p>(……ので、)</p>	<p>提案の内容</p> <p>○行政（市）、学校、NPO、民間、商工会議所、JAなどは、人権やジェンダーバイアス（社会的・文化的性差別）についての意識を高め、認め合う社会形成への取り組みをあらゆる機会を通じて啓発推進し、市民の意識醸成へつなげる。</p> <p>【政策1(8)～1(10)：共通事項】 1. 地域のリーダーを育てるプログラム 2. リーダーをつなぐコーディネーターの育成 3. 地域の特性を活かした企画する力を持つプロデューサーの育成</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>
<p>政策2(1)環境を核とした活力ある産業創出</p>	<p>提案12 再生可能エネルギー導入の環境整備</p>
<p>提案に至った現状と評価</p> <p>・地元では、再生可能エネルギー導入の取り組みが進んでいる。しかし、東北電力では、買い取った電力を全て接続した場合、送電網の容量を超え、安定供給に支障が出る恐れがあるとのことから、再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度に基づく契約の手続きを保留している状態にある。</p> <p>(……ので、)</p>	<p>提案の内容</p> <p>○行政（市・県・国）が、再生可能エネルギー導入のための環境整備を行う。 ※市で対応できる部分は市で対応するが、特に国に対して、送電網の早急な整備に向けた対応と安定した買い取り制度となるような仕組みの構築を働きかける。（要望する）</p> <p>○国の責任において、送電網の早急な整備に向けた対応と安定した買い取り制度となるような仕組みの構築を行う。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

【提案への市の対応】

※事業費は平成27年度当初予算額

政策1(9)だれもが気軽に楽しめるスポーツ	提案10 「スポーツ」の定義（見方や捉え方）を広げる
実施計画期間中（～H29）の市の対応	対応の内容
① 対応する予定（又は既に対応） ② 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 ④ 対応は当面困難	<p>市では、歩け歩け大会、「シルバースポーツの日」事業、チャレンジデーへの参加など、誰もが気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組んできましたが、さらなるスポーツ・健康づくりの推進に向け、27年2月に「能代市スポーツ推進計画」を策定しました。</p> <p>この計画では、スポーツへの関わり方もスポーツを「する」「みる」「ささえる」など多様化していることから、スポーツがより身近に感じられるよう、市民意識調査や県が実施している「スポーツ実態調査」等の結果を踏まえ、体力や年齢、目的などライフステージに応じた事業展開を目指し、スポーツを健康づくりのためのウォーキングや軽運動、自然に親しむ野外活動なども含めた広範囲なものとしております。</p> <p>施策としては、「シルバースポーツの日」を継続するとともに、高齢者のスポーツ実践者が指導者やボランティアとして活躍できる仕組みづくりや、健康づくりの視点からも運動習慣化定着の取り組みとして、徒歩での買い物や通勤、ウォーキング事業などの推進を図ることとしています。</p> <p>スポーツ団体のほか、健康づくりや福祉関連団体とも連携・協働しながら、広義のスポーツ・運動の推進を図り、「だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを楽しめる環境を整備し、幸福で豊かな生活を営むことができる、『スポーツで輝く夢のあるまち』」の実現を目指したいと考えています。</p>
政策1(10)認め合い支え合う社会づくり	提案11 あらゆる機会を通じて市民の意識醸成を図る
実施計画期間中（～H29）の市の対応	対応の内容
① 対応する予定（又は既に対応） ② 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 ④ 対応は当面困難	<p>市には14人の人権擁護委員がおり、山本郡の17人と合わせて「能代人権擁護委員協議会」を組織して活動しています。同協議会では、年間を通じて、各種イベントでの活動を含め、人権に関する様々な啓発活動を行っており、市では、活動支援として補助金を交付しています。</p> <p>また、男女共同参画推進委員会の設置や男女共同参画計画の策定と推進、男女共同参画都市宣言等、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。27年度は、都市宣言5周年の取り組みとして、記念事業開催や市広報への特集記事掲載等により啓発活動に力を入れたいと考えています。</p> <p>人権に対する意識の醸成は、一朝一夕でなされるものではありませんので、様々な機会をとらえて周知に努めていきたいと考えています。</p>
政策2(1)環境を核とした活力ある産業創出	提案12 再生可能エネルギー導入の環境整備
実施計画期間中（～H29）の市の対応	対応の内容
① 対応する予定（又は既に対応） ② 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 ④ 対応は当面困難	<p>25年度から市長会等を通じて再生可能エネルギー導入のための環境整備について国・県へ要望を行っております。</p> <p>風力発電に関しては、26年度から本地域を対象に国の補助事業を活用した送電網強化のための事業が始まっており、将来的な容量を勘案した整備が行われるものと考えています。</p> <p>また、太陽光発電に関しては、新たな出力制御ルールが導入されることとなり、発電事業者に対する制約が増すものの、電力の安定供給のための仕組みであることから、新たなルールに則った対応が必要と考えています。</p> <p>なお、市では太陽光発電を設置した場合の固定資産税の土地の評価を27年度から見直しし、導入促進を図ることとしています。</p>

【取組の改善策】

政策2(2)雇用を産み出す企業立地	提案13 事業者の事業承継と起業の支援
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・有効求人倍率は上昇傾向にある。 ・若者の働く場の確保は、依然、課題である。 ・増設等の企業は見られるが、新規の企業誘致の実現は難しい状況にある。 <p>(……ので、)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各事業者、行政（市・県・国、(助成制度)）、金融機関は、これ以上雇用を減らさないために、現在の各事業者の事業承継に力を入れる。 ○行政（市・県・国）、商工会議所が、地元の人々の起業を積極的に支援する。（財政支援、環境支援、技術支援） <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策2(3)力強く持続する農業	提案14 農業の六次産業化の促進
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・農業後継者の確保が困難。 ・小規模農業者の農業経営が厳しい状況にある。 ・加工販売面が弱いと思われる。 ・指標の推移は概ね順調ではあるが、例えば、稲作においては米価下落等により厳しい経営環境にある。 <p>(……ので、)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○行政（市・県・国）、JA、農業者が、農産物加工のインフラ整備と加工技術の向上を図るための取り組みを行う。 ○行政（市・県・国）、JA、農業者が、農業の六次産業化に向け、農業者（生産）と加工と販売を結びつける「専門家」、「コーディネーター（個人、団体）」導入（招聘）の取り組みを行う。併せて、加工品の販売拡大のため、学校給食への導入促進も図る。 <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策2(4)山・川を生かす林業・木材産業・水産業	提案15 素材生産と木材販売の拡大に向けたインフラ整備
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・伐期を迎えた森林は多いが、コスト等の問題から、なかなか伐採の量的な拡大が見られない。 ・ハウスメーカーが望んでいるのは乾燥材である。製材所では十分な規模の乾燥施設を持っておらず、製品の大半がグリーン材出荷となっているため、彼らの需要に応え切れていない。 <p>(……ので、)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○森林組合、素材生産者、行政（市）が、伐採のためのインフラ整備（森林境界の明確化、路網整備、高性能林業機械導入）を進め、伐採できる環境を整える。 ○製材事業者、行政（市・県・国）が、需要者の要求する品質の木材を生産することで木材生産の販売量を増やすために、乾燥施設の整備を進める。 <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策2(5)まちのにぎわいをつくり出す商業	提案16 事業者の協力体制強化
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗率が改善したように見えるが、営業店舗数は減少が続いている。 ・日用品を扱う店が少なくなり、閉店時間が早い、休日に営業していないなど、利便性が相対的に低下しているため、商店会や商店街振興組合に加入している事業主の意識を変えていく必要がある。 <p>(……ので、)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○今後の社会情勢の変化を見据えながら、商店会や商店街振興組合と、その構成員が連携の強化を図り、協力して商いや事業に取り組む。 <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

【提案への市の対応】

※事業費は平成27年度当初予算額

政策2(2)雇用を産み出す企業立地	提案13 事業者の事業承継と起業の支援
実施計画期間中(～H29)の市の対応	対応の内容
① 対応する予定(又は既に対応) 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 対応は当面困難	<p>25年度から新規創業や既存企業の新規分野参入等を総合的に支援するため、創業等サポート事業(3,360千円)において創業等相談窓口を開設しており、専門の相談員が創業や経営全般などの幅広い相談に応じています。その中で事業承継に関しては、必要に応じて国が設置している秋田県事業引継ぎ支援センターなどの関係機関と協力して対応しているほか、新規創業については、創業の心構えや知識等、創業の基礎を身につけてもらうための創業塾を商工会議所と連携して開催しています。</p> <p>また、新たに起業する方に対しては、起業・新商品開発等支援事業(7,112千円)の中で、機械器具費、事業拠点費、研修費などの経費を助成することにより、雇用の創出と産業の新陳代謝による地域経済の活性化を図っていきたいと考えています。</p>
政策2(3)力強く持続する農業	提案14 農業の六次産業化の促進
実施計画期間中(～H29)の市の対応	対応の内容
① 対応する予定(又は既に対応) ② 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 対応は当面困難	<p>市では26年度に、農業者の所得向上を図るため、地域で生産された農林水産物を利用し6次産業化する直売所や農家レストラン等の新規開業及び事業拡大を支援する「6次産業化推進事業費補助金」と、6次産業化に必要な加工や調理、販売等の技術習得や資格取得を支援する「6次産業化人材育成支援事業費補助金」を創設し、これまでに直売所や惣菜加工所等、4件の実績があります。</p> <p>27年度には、地場産農産物の消費拡大に繋がる新たな取組のほか、新規就農者支援、地域特産物の伝承と新たな作物の生産拡大等に取組み、農家所得の向上と雇用の創出を図るため「売り込め能代の食と農推進事業」(9,549千円)の取り組みを検討しているほか、市、県、JA、全農、商工会議所、県立大学等を構成メンバーとする「6次産業化検討会」を設置し、さらなる促進に努めたいと考えています。</p>
政策2(4)山・川を生かす林業・木材産業・水産業	提案15 素材生産と木材販売の拡大に向けたインフラ整備
実施計画期間中(～H29)の市の対応	対応の内容
① 対応する予定(又は既に対応) 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 対応は当面困難	<p>伐採のためのインフラ整備については、市が費用の一部助成を行い、26年度に白神森林組合が高性能林業機械を2台導入し、効率化を図っているほか、路網整備は引き続き実施しており、27年度では2路線の林業専用道を整備(12,553千円)する予定です。</p> <p>乾燥施設の整備については、国の補助事業を活用しながら加工製材事業所が導入を進めており、26年度は2事業者が導入しています。</p> <p>また、森林境界明確化については、27年度から森林境界明確化事業(1,000千円)に取り組むこととしています。</p> <p>なお、市では26年度に「林業木材産業振興検討委員会」を設置し、さまざまな課題についての検討を行っており、その提案の一部は27年度に事業実施されることとなっているほか、更なる振興策について引き続き検討して行きたいと考えています。</p>
政策2(5)まちのにぎわいをつくり出す商業	提案16 商業者の協力体制強化
実施計画期間中(～H29)の市の対応	対応の内容
① 対応する予定(又は既に対応) 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 対応は当面困難	<p>商店街活性化対策事業補助金(900千円)により、各商店街団体等が実施するイベント等へ支援することで、各商店街団体の自主性の高い積極的な事業展開を促進し、商店街の振興と活性化を図っています。</p> <p>また、中心市街地の空き店舗を活用して開業しようとする方に対して交付する、空き店舗流動化支援事業補助金(5,602千円)では、補助申請者が商店街団体へ加入することを要件としており、商店街団体の組織強化につながるものと考えています。</p>

【取組の改善策】

政策2(6)豊かな自然とその恵みを生かす観光	提案17 食の充実と通年観光の推進
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の受け入れ態勢の整備が課題となっている。 ・観光客入込客数は順調に伸びているが、集客イベントが夏に集中しており、数字ほど波及効果が伸びているか不明である。 <p>(……ので、)</p>	<p>○金勇などの観光拠点、飲食店主及び関係団体が、夏の集客イベントにより能代の知名度や郷土料理の認識を高めるとともに、新たにご当地メニューを作りながら、既存の観光資源も活かした能代の魅力の情報発信を充実させ、通年の集客を増やす。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策2(7)自然と共生し地域で支える環境保全	提案18 豊かな自然の良さをPRする
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・風の松原やきみまち阪など、豊かな自然に恵まれているが、市民は見慣れて環境意識が高まっていない。 ・環境意識を高めるPRが必要と考えられる。 <p>(……ので、)</p>	<p>○風の松原やきみまち阪などに関する環境ボランティア団体や行政(市)が、豊かな自然の良さや団体の活動をPRし、市民の理解を深め、自然環境意識を高める。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策2(8)資源を大切に社会を持続できる衛生環境	提案19 段ボールコンポスト等の普及による衛生環境意識の啓発
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の心がけがよく、順調に推移している。 ・ごみ分別の細分化により減量が進んでいるが、生ゴミの減量が必要である。 <p>(……ので、)</p>	<p>○コンポスト見直し隊などの市民活動団体や行政(市)が、段ボールコンポストの利用と廃食用油の回収を増やすことで市民の衛生環境意識を啓発する。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

【提案への市の対応】

※事業費は平成27年度当初予算額

政策2(6)豊かな自然とその恵みを生かす観光	提案17 食の充実と通年観光の推進
実施計画期間中(~H29)の市の対応	対応の内容
① 対応する予定(又は既に対応) 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 対応は当面困難	<p>地元の食に関する取り組み事例として、旧料亭金勇において雪見ランチの開催や、市内菓子店とタイアップしたお菓子の製作と提供(喫茶コーナー)を行っているほか、26年度は、囲碁の本因坊戦に向けて市内菓子店が創作したお菓子の販売も行いました。</p> <p>こうした取り組みの情報発信、研究等を行いながら、新たなメニューの開発について、市内飲食店等が加盟している観光協会や物産振興会に働きかけたいと考えています。</p> <p>また、市の認知度の向上と交流人口の拡大を目指し、東京ドームで開催されるふるさと祭りから出陣要請があった「天空の不夜城」の参加計画や、外国語を併設した市内まち歩き案内標柱の設置などを行う「地域資源を活用した地域プロモーション推進事業」(49,715千円)に取り組み、魅力ある地域資源の発信によるシティーセールスに努め、通年観光の推進を図りたいと考えています。</p>

政策2(7)自然と共生し地域で支える環境保全	提案18 豊かな自然の良さをPRする
実施計画期間中(~H29)の市の対応	対応の内容
① 対応する予定(又は既に対応) 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 対応は当面困難	<p>環境学習推進事業(132千円)では、市の豊かな自然と触れ合う機会を設けるため、おとも自然の会等の地域団体に講師を依頼し、環境大学講座や子ども環境探偵団活動を実施しています。</p> <p>子ども館においては、自然観察会「風の松原チャレンジ」を継続して実施し、館内にはふるさと能代の自然を学べるコーナーとして、能代の自然環境を紹介した展示をしています。</p> <p>このほか、風の松原については、風の松原の再生と共に歩む会が進める「白砂青松を感じられるエリア」の整備や「風の松原を守る市民ボランティア大会」などのイベントについて、連携したPR等を行っています。</p> <p>また、きみまち阪公園については、観光振興の面からも景観のほか、恋文のまちづくり事業と併せたPRを行っています。自然環境面の取り組みとしては、ニツ井町観光協会が主体となり「きみまち阪自然観察会」などのイベントが開催されています。</p> <p>今後も関係団体等と連携を図りながら市内外へPRし、自然環境保全意識の高揚に努めたいと考えております。</p>

政策2(8)資源を大切に社会を持続できる衛生環境	提案19 段ボールコンポスト等の普及による衛生環境意識の啓発
実施計画期間中(~H29)の市の対応	対応の内容
① 対応する予定(又は既に対応) 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 対応は当面困難	<p>環境のまちづくり推進事業(627千円)では、資源の循環型社会形成等を推進するため、段ボールコンポスト等による生ごみたい肥化普及啓発事業、廃食用油の回収、広報・ホームページによる環境に関する情報発信のほか、市民団体による資源循環活動を支援しています。</p> <p>「たい肥化を含む生ごみの資源化に取り組む市民の割合」については、29年度目標の20%に対して、これまで約17%で推移していますが、全国的に見て高水準を維持しています。また、廃食用油の回収量については、年4,920ℓの目標に対して25年度には5,430ℓと上回っており、今後も環境意識の高揚を図りながら、目標を達成できるよう取り組みを進めていきます。</p>

【取組の改善策】

政策3(1)安全な暮らしを守る防災・防犯体制	提案20 防災意識の更なる高揚
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・災害の場合に普段から備えることを心がけている市民の割合が減少傾向にある。 ・地域住民による防災、防犯への取り組みと、更なる防災意識の高揚を図る必要がある。 <p>(……ので、)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会、組合、事業所が、毎年防災訓練を継続して実施する。 ○行政（市・県・国）、自治会、町内会、自主防災組織は、避難場所に看板を掲げ、避難経路についても普段からその周知に努める。 <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策3(2)機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	提案21 排雪場所の確保
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境整備、除排雪は、人口減少や高齢化を踏まえ、更なる取り組みが必要である。 <p>(……ので、)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会・町内会が、行政（市）と連携して、排雪場所確保のため、土地所有者への協力依頼に努める。 ○行政（市）は、排雪場所の土地の固定資産税の減免を検討する。 ○自治会で除排雪に関する積立をして、作業できない世帯へ助成する。 <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策3(3)効果的で調和のとれた土地利用	提案22 中心市街地の活性化
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の空き店舗が多く感じられ、歩行者の通行量が少ない。 ・効果的な土地の活用ができていない。 <p>(……ので、)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○行政（市）、商工会議所、商工会は、連携して地域資源を活かした活動を行うほか、自らがイベント等の地域づくりに参加する。 <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

【提案への市の対応】

※事業費は平成27年度当初予算額

政策3(1)安全な暮らしを守る防災・防犯体制	提案20 防災意識の更なる高揚
実施計画期間中(~H29)の市の対応	対応の内容
① 対応する予定(又は既に対応) ② 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 ④ 対応は当面困難	<p>自治会町内会を単位とした自主防災組織の育成に取り組んでおり、地域ごとの防災訓練の実施を促すとともに、市総合防災訓練や出前講座などで市民や団体等の防災意識を高めるよう啓発に努めています。</p> <p>避難場所については、看板を設置し、その周知に努めているほか、災害種別ごとのハザードマップや避難場所、防災の心得等を一冊にまとめたハンドブック作成を検討しています。</p> <p>また、27年度に県が法に基づく津波浸水想定を実施し、これに基づき市が津波防災計画を策定して、避難目標地点までの主要道路となる「避難路」を指定する予定です。その後、地域住民が主体となって地域ごとの津波避難計画や地区防災計画を策定し、自分たちの「避難経路」を定めることとなります。その際には市職員が向向き、地域ごとの計画策定について支援したいと考えています。</p>

政策3(2)機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	提案21 排雪場所の確保
実施計画期間中(~H29)の市の対応	対応の内容
① 対応する予定(又は既に対応) ② 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 ④ 対応は当面困難	<p>市では、昨年10月に全自治会長等に対し、雪捨て場に関するアンケート調査を実施しています。その中で、既存の指定雪捨て場以外に、さらに雪捨て場を必要としているか、必要としている場合、自治会内に土地はあるのかなど、各地域の実情とご意見を伺っています。今後は、その調査結果を踏まえて検討を進めていきます。</p> <p>また、排雪場所の固定資産税の減免については、他自治体の先進事例等も含めて研究し、取り組みが可能か検討していきます。</p> <p>なお、除排雪については、地域との連携が不可欠であり、今後とも自治会、町内会と協力しながら対応していきたいと考えています。</p>

政策3(3)効果的で調和のとれた土地利用	提案22 中心市街地の活性化
実施計画期間中(~H29)の市の対応	対応の内容
① 対応する予定(又は既に対応) ② 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 ④ 対応は当面困難	<p>25年度に、中心市街地活性化後期計画を策定し、市民、各種団体、民間事業者、行政等がそれぞれの役割を担いながら、まちなかの賑わいを創出するために、一体となって事業に取り組んでいます。</p> <p>市では、魅力ある商店街づくり推進のため、景観改修者に経費の一部助成を行う「能代街なか商店街景観改修補助金」(700千円)や、中心市街地の空き店舗活用対策として、物産販売、イベント開催等を実施する方に助成する「商店街活性化対策事業補助金」(900千円)のほか、空き店舗を活用して事業に取り組む方に対し、「能代市空き店舗流動化支援事業補助金」(5,602千円)を創設し、街なかの歩行者通行量の増加と商店街の活性化を図っています。</p> <p>また、各商店街や商店会等が主体となり、「街ゼミ」「100円商店街」「能代逸品会」など、活性化に向けた様々な取り組みが行われており、今後とも関係団体や商店街等と連携を図り、中心市街地活性化に取り組んでいきたいと考えています。</p>

【取組の改善策】

政策3(4) 快適で暮らしやすい住環境	提案23 身近な公園の整備
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・市民に身近な公園が少なく、整備が必要。 <p>(……ので、)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○行政（市）は、整備された都市基盤を有効に使う。 ○地区によって整備されていない箇所もあるため、整備を推進する。 <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策3(5) 安心でき健康を保てる医療体制	提案24 かかりつけ医、かかりつけ薬局の定義や意義のPR
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医、薬局を持っている市民の割合が減っている。 ・重度の人が総合病院を受けられるようにする必要がある。 <p>(……ので、)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○行政（市）、医師会は、医療体制が適正に維持できるよう、かかりつけ医、かかりつけ薬局の言葉の定義や「かかりつけ」の意義や理由をPRする。 <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策3(6) 不安のない生活を支える社会保障制度	提案25 健康増進施策の推進
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・特養ホームや家庭内での介護者が不足している今、必要なサービスを受けるには困難な状況にある。社会保障制度の受給バランスを改善していくためにも、まずは日常的に市民が健康寿命を延ばしていける仕組みづくり必要がある。 <p>(……ので、)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○行政（市）、民間企業、商店街が、健康増進施策全般にポイントをつけ、 Dankカード等に付与する。 <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策3(4) 快適で暮らしやすい住環境	提案23 身近な公園の整備
実施計画期間中(~H29)の市の対応	対応の内容
① 対応する予定(又は既に対応) ② 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 ④ 対応は当面困難	<p>市では、市民との協働によるまちづくりを目指し、公園愛護会や関係自治会との連携により、公園の環境美化や維持管理の充実を図っています。公園愛護会には、73自治会、2団体の加入があり、今後も加入促進と連携強化に努めます。</p> <p>また、公園を快適にご利用いただくため、高効率草刈機の導入やアメリシロ等の害虫駆除への適宜対応などの業務改善を進めているほか、自治会等から要望が多い街区公園のフェンス等の更新(18,185千円)を順次進めています。</p> <p>公園内遊具については、毎年保守点検を実施し、修繕、撤去並びに「遊具整備に関する基本方針」に基づき更新を行なっているほか、高齢者の健康づくりにも寄与する健康遊具の設置も進め、27年度は3箇所設置(9,000千円)する計画をしています。</p> <p>2ha以上の面積を有する4公園(能代、能代河畔、赤沼、ニツ井中央)については、計画的に維持管理・更新を行うことで、安全性や機能の確保及びライフサイクルコストの縮減を図り、より多くの人が安全・安心して利用できる環境を維持するため、27年度に「公園施設長寿命化計画」を策定するとともに、その他の公園についても、長寿命化計画を参考に、遊具等の管理に努めたいと考えています。</p> <p>なお、公園は区画整理事業や宅地開発により整備されたもののほか、地域からの用地提供や貸与があったものについて整備しており、今後、新たに公園を設ける場合についても同様に考えています。</p>

政策3(5) 安心でき健康を保てる医療体制	提案24 かかりつけ医、かかりつけ薬局の定義や意義のPR
実施計画期間中(~H29)の市の対応	対応の内容
① 対応する予定(又は既に対応) ② 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 ④ 対応は当面困難 ()	<p>市では、健診時や健康推進員の学習会、地域での健康講話などでかかりつけ医やかかりつけ薬局の重要性について啓発することにより、定着促進を図っています。</p> <p>今後も継続して、健康教育や健康相談及びHPや広報等を活用し、かかりつけ医、かかりつけ薬局について、よりわかりやすい方法による周知・啓発に努め、理解を深めていきたいと考えています。</p>

政策3(6) 不安のない生活を支える社会保障制度	提案25 健康増進施策の推進
実施計画期間中(~H29)の市の対応	対応の内容
① 対応する予定(又は既に対応) ② 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 ④ 対応は当面困難	<p>市では、25年度から生活習慣改善への動機付けと定着化を図りながら、健康管理に対する意識を高め、将来の生活習慣病の予防につなげる「健康チャレンジポイント事業」(3,321千円)を実施しています。</p> <p>この事業は、自身で掲げた習慣改善への取り組みと、健診の受診、健康イベント等参加の3つの項目にチャレンジすることでポイント(最大1,200円分)を付与し、 Dankカード又はもっくんカードのポイントと交換ができ、楽しみながら健康づくりを推進するほか、中心市街地の活性化にもつながる事業として進めています。</p> <p>これまで新聞、広報、HP等の周知、イベントや健康推進員各地区等において説明会、勧誘の実施により、参加者は増加傾向にありますが、より多くの方に参加していただくため、実施内容や申請方法について課題を整理し、改善策を検討するとともに、既に事業に取り組んでいる人を紹介する「チャレポ通信」を広報に掲載するなど、分かりやすく、かつ市民の心に響くPRを行ってまいります。</p>

【取組の改善策】

政策3(6)不安のない生活を支える社会保障制度	提案26 高齢者の健康づくり
提案に至った現状と評価	提案の内容
<p>・経済的な問題や、家族や近隣住民との関係の希薄化により、年々自立できる高齢者の割合が低下してきている。社会保障制度に依存する高齢者を減らし、本当に必要になった際に十分な対応を可能にするためにも、「自立できない高齢者」と「地域や人」のつながりを作ることで、精神的な面での支えとし、自立できる高齢者を増やす必要がある。</p> <p>(……ので、)</p>	<p>○自治会・町内会、子ども会、学校、自治会連合協議会が、朝のラジオ体操に、子どもから高齢者に招待状を送り、一緒に体操する。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策3(7)効率的で住民サービスに資する行財政基盤	提案27 ふるさと納税の積極的周知
提案に至った現状と評価	提案の内容
<p>・税外収入を増やす必要がある。</p> <p>(……ので、)</p>	<p>○行政(市)は、ふるさと納税制度を成人式や関東能代会など、様々な行事で周知する。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策3(7)効率的で住民サービスに資する行財政基盤	提案28 職員数と行政サービスの点検
提案に至った現状と評価	提案の内容
<p>・職員数の削減が進み、行政サービスに支障をきたす恐れがある。</p> <p>(……ので、)</p>	<p>○第三者機関(民間、行政(市))は、職員数と行政サービスのバランスを点検する。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

【提案への市の対応】

※事業費は平成27年度当初予算額

政策3(6)不安のない生活を支える社会保障制度	提案26 高齢者の健康づくり
実施計画期間中(~H29)の市の対応	対応の内容
① 対応する予定(又は既に対応) ② 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 ④ 対応は当面困難	<p>市では、25年度から能代市健康づくり推進条例を施行し、市をあげて健康づくりに取り組んできています。また、「人と人のつながりが高い地域に住んでいる人ほど健康度が高い」という最近の研究報告もあり、健康づくりのためにはコミュニティづくりも合わせて推進していくことが重要と考えています。</p> <p>こうしたことから、自治会等の区域ごとの健康推進員と連携し、学習会や健康教育等により人々が顔を合わせて活動していくことで、健康と幸福感などの向上につなげていきたいと考えています。</p> <p>提案のラジオ体操については、各自治会・町内会に対し、年間活動の中でラジオ体操実施の検討をお願いしたほか、健康推進員へラジオ体操のCD等を配り、各地区での活動に合わせた実施や自治会長との連携による体制づくりを検討しています。</p> <p>また、夏季休業中に児童が行う際に、高齢者や地域の方々が一緒に参加できるよう各小学校に働きかけ、ラジオ体操を行う期間や場所を学校のホームページに掲載するなどの検討もしており、ラジオ体操をきっかけに健康づくりと地域づくりにつながる取り組みを図りたいと考えています。</p>

政策3(7)効率的で住民サービスに資する行財政基盤	提案27 ふるさと納税の積極的周知
実施計画期間中(~H29)の市の対応	対応の内容
① 対応する予定(又は既に対応) ② 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 ④ 対応は当面困難	<p>市では、ふるさと納税について、市ホームページに掲載しているほか、関東能代会、東京二ツ井会に毎年チラシを送付するなどのPRを図っています。</p> <p>今後は、成人式、修祓式、還暦等の当市出身者が多く集まる機会での周知を検討するほか、専用ウェブサイトに掲載してPR強化を図り、クレジット払いによる寄附の利便性向上も検討し、寄附の拡大に努めていきたいと考えています。</p> <p>なお、27年度から寄附者に対して能代市の特産品等を贈り、感謝の意を表すこととしています。</p>

政策3(7)効率的で住民サービスに資する行財政基盤	提案28 職員数と行政サービスの点検
実施計画期間中(~H29)の市の対応	対応の内容
① 対応する予定(又は既に対応) ② 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 ④ 対応は当面困難	<p>市では、18年度に定員適正化計画、23年度に第2次定員適正化計画を策定し職員の定員管理を行っています。計画の策定にあたっては、職員数と行政サービスのバランスを図りながら、業務量に応じた部門ごとの必要人員を算出し、また、県内他市や類似団体の職員数等も参考にしています。</p> <p>第三者機関(民間、行政(市))による点検については、行政サービスの点検が非常に多岐にわたり専門的かつ精緻な作業となることと、県内他市や類似団体の職員数等も踏まえる必要があることから、現時点では困難と考えていますが、引き続き職員の資質向上、組織・機構の検討などに取り組み、住民サービスの向上を図っていきます。</p>